

# 参議院議員 島村 大 レポート

2016年4月号 vol.23

発行元：自民党神奈川県参議院選挙区第三支部

## ◆島村大 現在の主な役職◆

- 〈参議院〉厚生労働委員会理事、予算委員会委員、  
ODA特別委員会委員、国の統治機構調査会理事
- 〈自民党〉厚生労働部会副部長、文部科学部会副部長  
報道局次長、行政改革推進本部幹事
- 〈その他〉国民歯科問題議員連盟事務局次長



新年度がスタートしました。新しい生活を始められる方も多いことと思います。国会では予算の成立後、重要法案の審議が続いています。日頃の皆さまのご支援に感謝しつつ、よりよい国づくりのため会期末の6月1日まで全力で走り続けます。これからもよろしく願いいたします！

## 参議院厚生労働委員会で質問 3月15日 社会福祉法等改正案

前国会から継続となっていた社会福祉法等改正案の審議で、質問に立たせて頂きました。社会福祉法人は、地域の福祉基盤として地域社会に大きく貢献していますが、一方で営利企業が参入するなど環境は大きく変わってきています。この改正案は、以下の2点が柱です。

### 1. 社会福祉法人制度の改革

### 2. 福祉人材の確保の促進



主な質問内容は、福祉人材の確保に関する以下です。

- ①介護離職ゼロへの大臣の決意
- ②若者、中高年など介護人材のすそ野の拡大
- ③人材の資質の向上への取り組み
- ④介護福祉士の国家資格義務づけと養成施設のあり方
- ⑤准介護福祉士の位置づけ
- ⑥東日本大震災の被災地における人材確保

### 被災地の身元確認 DNA鑑定より歯型が有効

被災地での人材確保の質問の際に、東日本大震災で亡くなった岩手・宮城・福島3県の犠牲者の身元確認は歯型鑑定によるものがDNA鑑定の約7倍だったという新聞報道(日経・3月13日)に触れました。歯形などの口腔内の所見は身元確認に非常に有効な手段です。さらなる活用を推進していく必要性を訴え、塩崎大臣からも応援の答弁をいただきました。

### ◇ 参議院議員 島村 大 事務所 ◇

〔神奈川県事務所〕横浜市保土ヶ谷区帷子町1-40-1-2F  
〔国会事務所〕千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館415号室

<https://www.shimamuradai.jp/>

TEL 045-333-1800/FAX 045-333-1820  
TEL 03-6550-0415/FAX 03-6551-0415



# The Jimin NEWS

No.179 平成 28 年 3 月 16 日 Liberal Democratic Party of Japan

## 「野党統一候補」 = 「民共合作候補」

“野党統一候補”の実態は、民主党と共産党の合作候補で、理念も政策もバラバラ。  
「理念なき民主党」と「革命勢力・共産党」の打算と選挙談合以外の何ものでもありません。

### “理念”も“政策”もバラバラの数合わせ

政党とは、共通の理念の下で統一の政策を持つものの集団ですが、今回の“野党統一候補”は、理念も政策もバラバラな野党各党が候補者を寄せ集めて、“選挙の数合わせ”をする以外の何ものでもありません。

例えば、民主党は与党時代、消費税の引き上げを決めましたが、共産党は大反対。今後、消費税をどうしていくのか、見解が一致するはずがありません。

### 共産党の下、日米安保・自衛隊廃止へ

野党で一致している政策は、全く時代に逆行する非現実的な「安保法反対・廃止」の一点のみ。その先には、共産党が主張する「日米安保の破棄」「自衛隊の廃止」があるのです。

北朝鮮問題をはじめ、わが国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中で、自衛隊と日米安保なしに、どうやって日本の平和や国民のくらしを守ると言うのでしょうか。

#### 安保法への理解が深まってきています。

Q：野党 5 党が安保法を廃止する法案を共同提出  
廃止するべきだと思うか？（共同通信 2 月調査）

- ・ 廃止するべきではない 47.0%
- ・ 廃止するべき 38.1%

### 「究極の選挙談合」

本来なら、自らが所属する政党から堂々と出馬すべき候補者を、民共合作のもとに無所属にするだけでなく、他党の候補者を野党間の調整で取り下げるなど、まさに野党による国民不在の「究極の選挙談合」が行われています。

仮に当選しても、どの政党に所属するのか、国会での様々な法案への賛否はどうするのか、全く明らかにしていません。有権者に対して極めて不誠実です。

### 「自公の安定政権」か、 「民共合作の革新勢力」かの選択

今から 50 年前、チェコスロバキアでは、民主化を求めた「プラハの春」がソ連・共産主義によって「弾圧の夏」になってしまった悲惨な歴史があります。私たちが戦うのは、“ひ弱な野党”ではありません。相手はその裏で確実に勢力を拡大しつつある共産党なのです。

#### 夏の参議院選挙では

「自公の安定政権」か「民共の革新勢力」か  
国民の明確な選択を求めて行きます。

